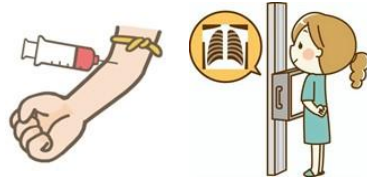


クリニカルパスウェイ
植え込み型心電図計植込み術／抜去術を受ける患者さんへ

患者番号 @PATIENTID 患者氏名 @PATIENTNAME

2023年3月23日作成
東京慈恵医科大学附属第三病院

	入院前	手術当日(手術前)	手術当日(手術後)	術後1日目～退院日	退院後の生活
日時	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日
目標	・不安なく手術が受けられる ・手術を受ける準備が整う	・確実、安全に手術が受けられる	・手術による合併症(出血、感染など)を起こさない	・植え込み型心電図記録計や生活の注意を理解できる ・創部に異常がない	
食事	・制限はありません	・昼食止め ・水分制限はありません 	・夕から食事が食べられます(塩分6g制限食) ・帰宅後すぐに水分は飲みます 		
活動	・制限はありません	・入室前にトイレを済ませてください ・病棟内は自由です	・トイレに行けます	・院内自由です	
検査処置	☐ 血液検査、レントゲン、心電図検査をします 	・心電図モニターをつけます ・手術は局所麻酔で行います(手術中に気分が悪くなった場合は、すぐに医師や看護師にお知らせください) ・手術部位: 左前胸部 ・手術順番: 午前／午後 番目 ※救急患者さんの状況などで、開始時間が遅れることがあります	・手術後は、血圧、脈拍、体温を定期的に看護師が測定します ・レントゲン検査をします ・心電図モニターをつけます ・創部(傷口)を絆創膏で保護します ・抗生物質の点滴をします	・心電図モニターは退院時までつけます ・創部の状態を確認して出血や腫れがなければ退院となります	・定期的に外来で心電図検査などをします ・その際に専用の機械で、心電図計の中に記録されている心電図をチェックします ・ご自宅に専用の通信機を置いて、遠隔で心電図記録をモニタリングすることもあります 植え込み型心電図記録計の手帳やイベントボタン(めまいや失神などの症状があった時に使います)について ・手帳は保険証と一緒に持ち歩くようにしてください ・イベントボタンは、めまいや失神の原因精査で植え込む方は常に持ち歩いてください
薬	☐ 服用されているお薬を持参してください ・持参した薬や薬手帳は看護師に渡してください ・薬剤師より内服薬の説明があります ・場合により、一部の薬を中止することがあります 中止薬: なし／あり 中止薬名: _____ 中止期間: ____ / ____ ~ ____ / ____		・中止する薬や新たに追加する薬があれば、随時説明します		
清潔	☐ 入浴できます	・検査当日は入浴やシャワーはお控えください		・洗髪や下半身シャワーができます ・創部は術後3～4日間濡らさないでください ・術後5日目からはシャワー、入浴ができます(湯船に浸かって大丈夫です)	
指導説明	☐ 植え込み型心電図計植込み術／抜去術の説明があります(ご家族も同席してください)(手術の説明・同意書を渡します)(外来で説明済／入院時説明) ・同意書に記名して、看護師に渡してください ・動悸がしたり気分が悪くなる時には看護師に伝えてください	・コンタクトレンズ、メガネ、指輪、時計などを外して、術着に着替えます(下半身はパジャマのまま) ・点滴をして、胸に心電図コードを貼り、カテーテル室まで歩いて行きます ・手術終了後に、ご本人、ご家族へ結果を説明しますので、ご家族は治療中病棟で待機してください(病棟から離れる際は看護師に声をかけてください)	・手術の結果について、医師より説明があります ・創部の痛みが強い場合は、鎮痛剤も使えますので、看護師に伝えてください	・絆創膏で、皮膚がかぶれてかゆみなどが出ることがありますので、その際は看護師に伝えてください ・退院後の生活や外来予定について看護師から説明があります(水分はこまめに、よく飲むようにしましょう) ・動悸がしたり、気を失ったりした時は、病院へ連絡してください ・植え込み型心電図計植込み後の注意点を説明します ・創部が腫れたり、赤くなったりしないか毎日観察しましょう ・創部を掻いたり、物にぶつかけたりしないように注意しましょう ・自分で脈が測れるように練習しましょう	

※この用紙は入院してからも使用しますので、入院時に持参してください

《連絡先》 東京慈恵会医科大学附属第三病院 TEL:03-3480-1151
平日: 内科外来 (内線 3125) 夜間・休日: 救急室 (内線 3399)